

明日のターゲット

身近な Z 世代のリアルに迫る ①入り口編

2020.12.21

Resonance Lab.

COPYRIGHT © 2020 SE&BA

身近な Z 世代のリアルに迫る ①入り口編

レゾナンス・ラボではこれまで、継続的に独自の切り口による世代論研究を行ってきた。^{*}今回は、レゾラボメンバーの中で一番年下のゆとり世代（Y 世代）よりさらに若い「1990 年代半ばから 2000 年代半ばに生まれた世代」を Z 世代として捉え、この世代のリアルな声を集めるべく当社の若手社員の協力のもとアンケ

ート調査を行った。デジタル化の過渡期に生まれた世代としてメディアから注目される Z 世代と、身近に存在するリアルな Z 世代にギャップはあるのかに着目し、その肌感覚を探っていききたい。

※参考：1804 配信【世代論を超えて考えたい】、1904 配信【ゆとりの SNS マーケティング】

身近な Z 世代のリアルアンケート 〈①入り口編〉

※入社 1 年目 2 年目の社員（1994 年～ 1998 年生まれ）対象（回答者数 40 名）

Q1 はじめてネットに触れた年齢は？

最多：**10 歳**（13 票）
（最も早い人：4 歳、最も遅い人：14 歳）

Q2 はじめてスマホを持った年齢は？

最多：**16 歳**（13 票）
（最も早い人：10 歳、最も遅い人：19 歳）

Q3 はじめて SNS に登録した年齢は？

最多：**16 歳**（11 票）
（最も早い人：10 歳、最も遅い人：19 歳）

Q5 ひと月当たりの自己投資 TOP3 は？

1 位 被服費（58.5pt）

2 位 交際費（56pt）

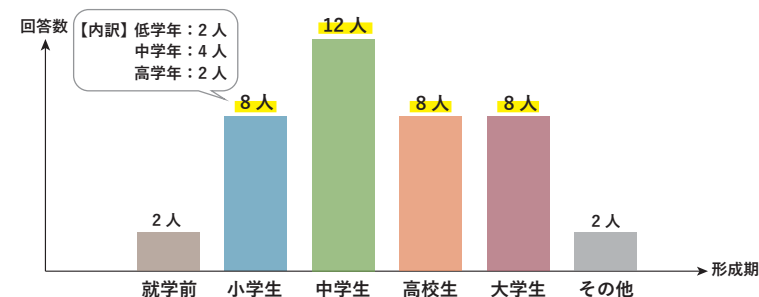
3 位 趣味（47.5pt）

※1 位：3pt、2 位：2pt、3 位：1pt として計算

合計得票数（順位に依らない）では
 被服（27 票）、趣味（26.5 票）、交際（24.5 票）、
 美容（14.5 票）、食事（8.5 票）という結果に。

※複数回答は 0.5 票として計算

Q6 自身の価値観の形成期はいつ頃ですか？



Q4 自身の世代はどのような傾向・特徴があると思いますか？（自由記述より一部抜粋）

“**頑張り過ぎない**、省エネ、堅実、the さとり世代”

“**多様性への寛容さ**、他人は他人、権利を理解し主張する（できる）”

“**堅実、決断が早い**、決断をするために**情報収集をして比較する習慣がある**”

“好きなことには**熱中**できる一方**興味のないことに冷めている**”

“**性別を二分化して考えていない**、男、女は「こうあるべき」が少ない”

Q7 自身の価値観の形成に大きく影響を与えていると思う人は？

1 位 家族（17 票）

2 位 友達（11 票）

3 位 中学・高校の先生、大学教授（6 票）

4 位 作家（アーティスト、デザイナー、小説家等）（5 票）

その他：**WEB メディア**、**インフルエンサー**、**芸能人**、
 本・映画・音楽などの作品、ニュース

「身近な」Z世代とは

Z世代の特徴として“ソーシャルネイティブ”“人種や性別にリベラル”“エンカル消費や環境問題への関心が高い”“ブランドよりも自分が気に入るかを重視”などが多くメディアに取り上げられている。しかし、これらの調査の多くは欧米のZ世代や、日本でもインフルエンサーなどウェブメディアに積極的で海外の流行にも敏感な層を対象としたものが多く、身近に存在するZ世代には当てはまらない価値観もあるのではないかと予想する。

レゾナンス・ラボの調査ではこのギャップに注目し、メディアではあまり取り上げられて来なかった「身近な」Z世代のリアルを探っていく。



アンケートから見えてきたこと〈①入り口編〉

Q1～Q3ではインターネット、スマホ、SNSに関する質問をした。Q1は10歳という回答が最多で、小学生時点ではまだiPadなどのタブレットが登場していないことなどからゆとり世代である筆者との差もあまり見られない。また、Q2は16歳が最多で、これは日本で最初のiPhone発売(3G、2008年)より少し後のスマートフォンが浸透してきた時期と高校入学という節目が重なっていることが理由だろう。同じZ世代の中でも今回調査を行った層は生まれた時からスマホやタブレットでインターネットに触れてきた世代よりは少し上の世代であることがわかる。

Q4では、ゆとり世代に見られる“頑張り過ぎない”などの特徴だけでなく、Z世代の特徴として挙げられる“多様性への寛容さ”などの回答も見られる。ゆとり世代よりもさらにZ世代の方が多様性を重視するのは、Q3で見られるようにリアルの知り合いだけでなく誰とでも繋がることのできるSNSの影響を受けはじめた時期が中高生の頃からか、大学生になってからかといった違いがあるかもしれない。

アパレルは販売不振といわれる昨今、Q5では意外にも被服費が一位という結果となった。バブル世代の親から買い物好きという特徴を受け継いでいる可能性

や、ファストファッションを好むゆとり世代との違いなど、興味深い回答が多く見られたため続編のレポートで詳しく報告したい。

Q6～Q7では価値観形成時期は中学生という回答が最も多く、次いで小学生、高校生、大学生が同率と結果は分散した。影響を受けた人については家族、友達、先生などの身近な人が上位に挙がっているが、中には「インフルエンサー」「WEBメディア」などの回答もあった。身近な人だけでなくネットを通して様々な価値観と出会う機会が増えたことなどから価値観の形成時期も多様化しているのかもしれない。

本号では入り口編として身近なZ世代の価値観に関する考察を紹介した。引き続き調査分析を重ね、身近なZ世代のリアルに迫っていく。

文章：大島 萌

かとも picks

バブル × 世界 ÷ 等身大+らしさ = Z世代?

Z世代。ゆとりとどう違うのか、正直ほとんど理解できていない。アンケートを読むまでもなくまさに私の子供世代だと思うが、お互いに理解し合えないのも当然だと感じる。なんせ10歳からネットを使い、10代半ばでSNS経由で世界から情報を収集しているのだからそもそも繋がる環境が違いすぎる。その割に影響を受けるのは親や家族という答えが多いのはいったいどういうこと???そして、YouTubeは調べ物をするところなのね。

ただ、氷河期世代やルーズソックス世代ではあまり発見できなかった「服好き」という言葉がでてきてわくわくする。「良いものを長く着る」価値観を重んじるなど、うれしい限り。多様性を尊重しなくては、と頭で理解するバブルな私と比べて、♡で多様性に触れているように感じるし、「服好き」に男子が多いのもいいね!と思えるところ(続編に期待してください)。

街で見かける美魔女な母親とみちょぱな娘が腕を組んでいるのはどうかと思うけれど、こんなZ世代となら一緒にお買い物してあげてもいいかもね、と思ってしまった。